
私は、嘘の輪廻を回します。

南波航助

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私は、嘘の輪廻を回します。

【著者名】

ZZマーク

Z3321D

【作者名】

南波航助

【あらすじ】

嘘の輪廻を回します。この世界から、嘘が無くなるよつ。

嘘はだれだつてつべ。

そう誰かが言つていました。

本当に、誰もが嘘をつくんですか。
私は嘘をついたことがありますんと言つたら、あなたはびつします
か。

私は嘘をつきません。

子供のころ、母はいつもついていました。

「嘘をつくと、罰があるる」

本当ですか。

嘘をつくと、罰が当たるのですか。

では何故私には罰が当たらないのでしょうか。

私は嘘を付きます。

私は、嘘をつかないといつ嘘をつきました。

もうお分かりでしょう。

私は、嘘つきなんです。

子供の時からずっとそうです。

楽しいから、嬉しいから

そんなんじゃありません。

嘘っていうのは、人の心を見ることが出来るんですよ。
人っていうのはね。
嘘の固まりなんですよ。

私は、嘘つきです。

電車に揺られていると、一面にふわりと良いにおいが漂つた。
香水でもない、なんだろうか、このにおい。
私にしか感じられないのだろうか。

これは、嘘のにおいだ。

ああ、何て良いにおいなんだ。

人間の欲望の香りだ。

ふと私は気づいた。

このにおいが何処から流れているのかに。
なるほど。

一人の若い男性が美人の女性に話しかけていた。
自分を良く見せるための嘘か。

良くある話。

一つ、言っておかなければならなかつた。
嘘は、輪廻する。

嘘つていつのは、回るんだ。

ぐるぐるぐるぐる。

そして、自分の所に帰つてくる。

出たときよりも、倍の倍になつてね。

彼もきっと、嘘の輪廻を知ることになるだろ？。

嘘つきは悪人。

そうじゃないんだ。

嘘つていうのは、無意味な行為でね。

自分を破滅させるだけ。

輪廻するって言つたけど。

回しているのはこの私。

人間つて面白い。

どうして自分を壊していくんだろうか。

人間つて面白い。

嘘は、回るのに。

私は、嘘をついて死にました。

だから誰よりも嘘の怖さを知つていて。

死んだのに、ここにいる。

それは、何故だろう。

おかしいな。

私は頭がおかしいんだ。

きっとそうだ。

なんだか、この笑い、この涙。

私は人じゃないんだ。

じゃあ何だ。

幽靈。

まさか。

私は、嘘をついて死にました。

今は神様のお手伝いをしてている。
神が良いことをするなら。

私は悪いことをする。

私は、嘘の輪廻を回します。

この世界から、嘘が無くなるように。

(後書き)

嘘について、考えてみました。
どうでしたか。

くだらないと思つた方は、お帰り下さい。
訪問、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3321d/>

私は、嘘の輪廻を回します。

2010年12月13日01時18分発行